

# せいろう

Seiro Town

# 議会だより

Vol.117

12月議会

平成29年  
1月20日発行

新潟県聖籠町議会



キャンドルサービス  
楽しいな  
(亀代こども園)

新年のあいさつ

2~3ページ

アンケートにご協力をお願いします

9ページ

11人が一般質問

10~21ページ

委員会レポート

22~23ページ



# 2017

# 謹賀新年

聖籠町の今と未来を見据え  
 伝い続けたい町づくりに努めます  
 聖籠町議会議員一同



## 新春を迎えて

### 議長 須貝龍夫



## 東港の 発展に期待

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。県内では、昨年11月に二つの地域で発生した鳥インフルエンザで、養鶏に携わる関係者には大きな衝撃となりました。また、本町では昨年、初めて7万トンを超えるクルーズ船が入港しました。今年4月・7月に入港予定だそうです。

今後、海外から訪れる大勢の観光客が、県内の観光施設を楽しんで巡れるよう県・近隣市と連携し、東港の機能強化や背後地整備を、早期に進める必要があると強く感じています。

私ども、議会におきましても、町民から聖籠町に住んでいて良かったと喜んでいただける町づくりに努めたいと思っております。

今年も、皆さまのご健康とご多幸をお祈り致すとともに、議会に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。



税条例等の一部改正、農産物加工センター条例の一部改正、指定管理者の指定（海のにぎわい館）など12議案を全て可決。

平成28年12月6日～12日(会期7日間)

# 12月定例会

## 例正 改正 消費税10%引き上げと同時に実施

### 税条例

地方税法等の一部を改正する等の法律、関連法令が公布されました。改正内容は、国の税制改正に伴う所要の改正です。今回、改正する規定には、消費税率10%引き上げと同時に実施される規定が含まれています。主なものは、軽自動車税の引き上げです。しかし、消費税率の引き上げは平成31年10月1日に延期されました。今回、条例改正を行いました。延期予定がありました。消費税率の引き上げ実施まで、従来どおりの軽自動車税です。他に、規定の中で、医療費控除の新しい特例があります。医療費から転用された一定の市薬品の購入費用が年間1万2千円を超えた場合、その購入費



▲今まで安かったのになあ

用（10万円限度）のうち1万2千円を超える額を所得控除できます。平成30年1月1日施行ですが、新しく国から示された規定です。控除が認められるために、さまざまな証明書が必要で

### 主な質疑

#### 今回の改正で税の増収は

五十嵐利栄議員 今回の改正では、消費税率10%引き上げが延期になったことで、増収は見込まれないものが多いが、すぐに適用される改正もある。来年度、税の増収見込みをどう考えているか。

#### 企業の業績による

税務財政課長 軽自動車税の改正部分は範囲が広い。消費税率引き上げまでの延期がほとんどであるが、車の環境性能関係では、平成28年度から適

用されているものもある。法人町民税の改正も延期であるが、今の、12・1%の制限税率が延伸される。29年度の増収については、企業の業績による。

#### どちらかを選択するの

小川益一郎議員 従来からある医療費控除と今回、新しく加えられた市薬品（特定一般医薬品等）控除について、どちらか一方を選択して控除するの

#### 選択制である

税務財政課長 1人の人が、従来の医療費控除と市薬品控除の二つの控除を受けることはできない。どちらか一つを選択してもらう。

#### 控除の対象は個人なのか

中村恵美子議員 同一人が先の二つの控除ができないのは理解したが、控除の対象は、世帯ではないのか。

## 条例改正

### 有料にすることで利用はようになる

#### 農産物加工センター条例

く個人ということではないのか。  
あくまでも個人である

税務財政課長 家族であっても、一人一人についての控除である。

討論 なし  
採決 全員賛成で可決

農産物加工センターの利用については、現在、包装室の利用は無料です。有料になっている作業室の利用者との公平性を図るため、包装室の利用料金を定めました。  
(午前8時30分～午後0時30分まで千円、午後1時30分～午後5時30分まで千円)

### 主な質疑

#### どこから出たのか有料化

宮沢光子議員 オープン当初から無料だった包装室の有料化はどこから出たことなのか。包装室を利用する人は年間どのくらいか。有料化することで、年間5万円の収入を見込んでいるが、計算の根拠は何か。

#### 利用者協議会からの提案

産業観光課長 平成22年度のオープン時からの利用実態から、農産物加工



▲加工センターの包装室

#### 利用者協議会での協議を基礎にする

産業観光課長 漬物加工について、センターを使ってもらえるようPRしたい。加工品の充実については、地場物産との関係も含め、利用者協議会の話し合いを基礎にして、いい方向性を見いだしていきたい。

討論 なし  
採決 全員賛成で可決

## 指定管理

### 改善点を議論しているか

#### 指定管理者の指定（海のにぎわい館）

海のにぎわい館の指定管理者が決まりました。応募は1団体のみでした。団体は、「NPO法人海レクサポート」です。（指定期間は、平成29年4月1日～平成34年3月31日まで）

### 主な質疑

#### オープンして5年を経た改善点は

宮沢光子議員 海のにぎわい館はオープンして、5年が過ぎた。オープン当初から指定管理者だった団体が、今回、引き続き、指定管理者になる。先の5年間を通し、利用者への声や施設の改善点等はこれからの5年間にどう生かされるのか。

#### 審査会での意見を伝える

産業観光課長 にぎわい館の利用者からの声は、担当課には届いていない。オープン以来の改善点については、指定管理者選考審査会でいくつか意見が出された。今後、指定管理者に伝えていく。

討論 なし  
採決 全員賛成で可決

## 固定資産評価審査委員に 小林勝治さん(新任)



こばやし かつし  
小林 勝治さん  
(山三賀)

固定資産評価審査委員会委員の佐藤栄藏さんが平成28年12月31日任期満了になることから、後任に小林勝治さんが選任され、全員賛成で同意しました。



# 経営転換協力金の周知を

## 一般会計補正予算

### 主な歳入

- 臨時福祉給付事業費補助金 3000万円
- 土地建物売払収入 666万円

### 主な歳出

- 国保事業勘定その他繰出金 6110万円
- 臨時福祉給付金扶助費 3000万円
- 農地集積協力金 630万円



▲保とうきれいな海岸

漂着物対策事業補助金とは

中村恵美子議員 海岸漂着物地域対策推進事業補助金の詳細は。

清掃費用である

生活環境課長 夏場の海水浴時における清掃費用の補助金である。県の補助率は56%である。

懇談会参加者は同じか

中村恵美子議員 循環バス利用者懇談会謝礼とあるが、参加者は毎回同じなのか。

循環バス利用者に依頼

生活環境課長 懇談会参加者は一定の方である。なるべく循環バスを利用している方をお願いしている。

補助金内訳は

中村恵美子議員 保育所業務効率化補助金の内訳は。

システムに係る経費

子ども教育課長 具体的な中身は、書類作成に係る保育業務支援システムの経費である。国が4分の3、町が4分の1の補助金である。

通信運搬費の使用用途は

小川勝也議員 議会費の通信運搬費の内訳は。

郵便料金である

議会事務局長 1月に行う、住民アンケートに係る郵便料金である。

平成28年度一般会計補正予算は既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8783万円を追加し、総額73億752万円と定める予算を全員賛成で可決しました。  
主な質疑は歳入で土地建物売払収入、中学校通学バス利用者収入について、歳出で農地集積協力金、保育所業務効率化補助金、循環バス事業費などについて質疑が行われました。

### 主な質疑

集積率は上がっているか

五十嵐利栄議員 町全体の田んぼの面積に対して、集積率はどの程度上がったのか。農家に対し、中間管理機構を介することで経営転換協力金が得られるが、どのような方法でPRを行ったか。

算出していない

産業観光課長 集積率については年度末に集計しているため、今回の補正でどの程度上がったか算出はしていない。担い手といわれる認定農業者に制度の周知を兼ね、パンフレットを送付している。



▲上がっているか集積率

中学通学バス利用者減の理由は

五十嵐利栄議員 中学校通学バス利用者収入が減少している。なぜ利用者が減っているのか。保護者の送迎が増えているのか。  
子ども教育課長 見込みに対し、32人の減であった。循環バスの利用者増加や料金の値上げ等が要因と思われる。保護者の送迎は以前と大きく変わりはしない。

理由はさまざまである

## 第2回臨時会

### 期末手当を引き上げ

11月25日、平成28年第2回臨時会が1日間の会期で開かれました。

職員の給与に関する条例等の一部改正

平成28年度の人事院勧告等を踏まえ、職員の給料表、初任給調整手当、勤勉手当および扶養手当に関する規定の一部改正をしました。また、国の特別職の期末手当において、職員の一般職の勤勉手当に準じた改正があるため、町長、副町長、教育長、議会議員の期末手当を引き上げる、規定の一部改正をしました。

### 主な質疑

なぜ臨時会を開くか

五十嵐利栄議員 新発田市は、臨時会を開かず、12月議会で審議し、後日給与等を補正しているが本町はなぜ臨時会を開くか。

一般職と特別職の改正を分けるべき

小川益一郎議員 一般職員と特別職の条例をなぜ分けないで、議決を求めているのか。

問題ない

副町長 法制執務上、この条例改正は、特に問題ないと考える。なお、議員には、修正の権能も保

一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算にそれぞれ866万円を追加し、予算総額72億1969万円と定める補正予算を可決しました。

討論 なし  
採決 賛成11反対2で可決

証されており問題ない。

討論 なし  
採決 賛成11反対2で可決

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、下水道事業会計、水道事業会計の4会計の補正予算については、全員賛成で可決しました。

年内支給のため

総務課長 速やかな年内



### ●「まちづくり創生大学」開講

### ●亀代児童クラブ建設に着手

### ●病児・病後児保育事業開始

## 行政報告



わたなべ 渡邊町長

▼12月11日に「生涯活躍のまち・住民シンポジウム」を行い、これまでの研究会での議論について報告を致します。

▼「まちづくり創生大学」は34人に登録していたが、9月28日より開講しました。

▼新発田市と定住自立圏協定の調印を行い、今後、共生ビジョン策定に向け協議を進めます。

新潟市においては、12月中に、本町を含む10市町村で「連携中核都市宣言」を行う予定です。

▼米の作況指数は、10月28日公表の農林水産統計では、県全体および本町を含む下越北は108でした。

▼都市計画施策については、民間による「別條南地区」の造成が完了し、23区画すべて売約済みと

聞いています。町全体の活性化が図られると期待します。

▼来年には、9万トン級のクルーズ客船の寄港する新潟東港木材ふ頭岸壁では、さらなる大型クルーズ客船への対応を図る改良工事が進められています。今年度末には17万トン級のクルーズ客船が着岸可能となる見込みです。

▼亀代児童クラブの建設に着手しました。来年3月中に竣工を予定しており、開所に向けた準備を進めています。

▼病児・病後児保育事業は、9月1日より事業を開始し、これまでの利用状況は11月15日現在、8人で延べ18日間の利用があり、1人当たり平均2日間の利用となっています。

▼図書館利用状況は、今年4月から10月までの入館者が5万9302人で対前年度比21・9%の増、貸出点数は9万3601点で、対前年度比15・4%の増となっています。

## 読者の声

### 子どもたちよ 大人になっても元気よく



わたなべ ひろあき 博彰 さん (網代浜)

今日も、朝から元気よく子どもたちが登校しています。

私は、交差点で、子どもたちの安全を確認しながら「横断中」の旗を振っています。今では、大声であいさつするようになりましたが、最初の頃は、「おはよう」と言っても、「返事してくれませんか」というような顔をしていらんでいました。

仕事の関係で毎日、交差点に立っているわけではないのですが、時間の都合がつくときは、なるべく立つようになっています。

しかし、振り返ると子どもたちは、なかなか

か手ごわいものでした。当初、「おはよう」というあいさつではダメでした。「おはようございます」と大きな声で言わないと反応しないのです。これには参りました。

次の日から、大きな声で「おはようございます」と言っています。一人の班長さん自ら大きな声で「おはようございます」と言ってくれました。私がもう一度、大きな声で「おはようございます」と言っていると、今度はみんなと一緒に大きな声で「おはようございます」と繰り返してくれました。

みんなもついてきます。素晴らしい班長さんでした。見ていて朝から気持ちのいい一日の始まりでした。

その後、他の班の人たちも負けず大声であいさつをするようになり、運動会の応援合戦のようになりました。子どもたちは、町の宝です。一人一人健やかに育つよう、教育の充実を町にお願いしたいと思います。

これからも、できる限り、交差点に立ちたいと思います。新年度の班長さんと新1年生の顔を見るのが楽しみです。

聞いている。町全体の活性化が図られると期待します。

▼来年には、9万トン級のクルーズ客船の寄港する新潟東港木材ふ頭岸壁では、さらなる大型クルーズ客船への対応を図る改良工事が進められています。今年度末には17万トン級のクルーズ客船が着岸可能となる見込みです。

▼亀代児童クラブの建設に着手しました。来年3月中に竣工を予定しており、開所に向けた準備を進めています。

▼病児・病後児保育事業は、9月1日より事業を開始し、これまでの利用状況は11月15日現在、8人で延べ18日間の利用があり、1人当たり平均2日間の利用となっています。

▼図書館利用状況は、今年4月から10月までの入館者が5万9302人で対前年度比21・9%の増、貸出点数は9万3601点で、対前年度比15・4%の増となっています。

聞いている。町全体の活性化が図られると期待します。

▼来年には、9万トン級のクルーズ客船の寄港する新潟東港木材ふ頭岸壁では、さらなる大型クルーズ客船への対応を図る改良工事が進められています。今年度末には17万トン級のクルーズ客船が着岸可能となる見込みです。

▼亀代児童クラブの建設に着手しました。来年3月中に竣工を予定しており、開所に向けた準備を進めています。

▼病児・病後児保育事業は、9月1日より事業を開始し、これまでの利用状況は11月15日現在、8人で延べ18日間の利用があり、1人当たり平均2日間の利用となっています。

▼図書館利用状況は、今年4月から10月までの入館者が5万9302人で対前年度比21・9%の増、貸出点数は9万3601点で、対前年度比15・4%の増となっています。

聞いている。町全体の活性化が図られると期待します。

▼来年には、9万トン級のクルーズ客船の寄港する新潟東港木材ふ頭岸壁では、さらなる大型クルーズ客船への対応を図る改良工事が進められています。今年度末には17万トン級のクルーズ客船が着岸可能となる見込みです。

▼亀代児童クラブの建設に着手しました。来年3月中に竣工を予定しており、開所に向けた準備を進めています。

▼病児・病後児保育事業は、9月1日より事業を開始し、これまでの利用状況は11月15日現在、8人で延べ18日間の利用があり、1人当たり平均2日間の利用となっています。

▼図書館利用状況は、今年4月から10月までの入館者が5万9302人で対前年度比21・9%の増、貸出点数は9万3601点で、対前年度比15・4%の増となっています。

## みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では、地域住民より直接の声となります。陳情1件を審査し、全員一致で不採択としました。

### 不採択とした陳情

#### ◎防災道路の整備に関する陳情書

〔提出者〕道賀新田区長 澁谷 勘市  
〔不採択の理由〕6メートル未満道路の舗装については、平成22年度に出された基準の運用取り扱いをもって対応しています。この度、個別案件として陳情が提出されましたが、他地区との公平性や以前からの整合性を踏まえると、町の基本的な方針との整合を図り、その上で個別の内容を審議する必要があると考えられることから、12月定例会においては不採択としました。

### 意見書を国に提出

第4回定例会で1件の意見書が提出され、賛成10反対3で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

#### ◎地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

### 議会アンケートにご協力をお願いします

聖籠町議会では、町民の皆さんに開かれた議会を目指し、議会改革に取り組んでいます。

現在、この取り組みの参考とするため、町民の皆さんの意見を聞くアンケートを実施中です。

皆さんの率直なご意見をたくさんお寄せくださいますよう、ご協力をお願いします。

### アンケートの回答方法

- 調査用紙 町内の各世帯へ配布しています。
- 対象 各世帯で1人、18歳以上の方が回答してください。
- 返信 アンケート用紙裏面のとおり作成しお送りください（切手不要）。
- 締切 平成29年2月20日(月)まで
- 問い合わせ 聖籠町役場議会事務局  
☎0254(27)1967

### 今なぜ「議会改革」が必要なのか

議会の役割は、町民の代表として行政を監視・チェックするとともに、町民の皆さんの意見・要望を聞き、その実現に行政と協力して当たることです。

そのためには、議会の機能を強化していかなければなりません。これにはチェック機能だけでなく、町民参画の実現、個々の資質向上、情報発信の強化、議会経費の見直しを進めています。



# ズバリ直言!!

## 一般質問 町政を問う

### 11 議員が質問

- 12月議会では、11議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をただすものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、2月末に町ホームページに掲載される予定です。

五十嵐 利栄 議員	3 2 1	循環バス利用範囲拡大をセシウムを含む汚泥の撤去は	P 11
小川 勝也 議員	3 2 1	ふるさと納税の成果は小学校の冬場の通学は安全か	P 12
宮沢 光子 議員	3 2 1	進んでいるか案内看板の整備人材育成をどう考えているか	P 13
中村 恵美子 議員	2 1	中学入学準備金の3月支給を介護保険の議論を	P 14
長谷川 六男 議員	2 1	自転車通学の安全対策改善をどう考える防犯灯点灯時間	P 15
宮沢 さやか 議員	1	学校ごとも園トイレの洋式化を	P 16
小川 益一郎 議員	2 1	区長の委託料は個人の所得かどうか	P 17
高松 守雄 議員	2 1	給付型奨学金どう考える臨海鉄道の復活を	P 18
青木 順 議員	2 1	ふるさと納税現状は防犯灯足りているか	P 19
田中 智之 議員	2 1	どう取り組む高齢者の自動車事故いじめの実態は	P 20
渡辺 豊 議員	2 1	幼児教育に生きる力を診療所の体制は現状維持か	P 21

### 一般質問の原稿はUSJの広報広聴常任委員会

一般質問の原稿作成者は、質問見出しと答弁見出しを含め、一般質問をした議員本人です。一般質問は、1時間の枠の中で、質問と答弁が繰り返されます。そこでの議論を、指定の原稿用紙77行(約850文字)以内で書いてもらいます。

広報委員会は、提出された原稿を、見出しも含め、反訳原稿と照らし合わせてチェックをして編集します。

9月議会の議会だより116号において、広報委員会に、小川益一郎議員の一般質問で、本人原稿と掲載した文章が違う。本人の了解なしで直すことは許されないと異議申し立てを受けました。

本人原稿では、町長の答弁見出しは「棄権も権利の一つ」となっていたが、9月議会の議会だより116号において、広報委員会に、小川益一郎議員の一般質問で、本人原稿と掲載した文章が違う。本人の了解なしで直すことは許されないと異議申し立てを受けました。

9月議会の詳細を知りたい方は、議会事務局、町の図書館等で「会議録」は閲覧できますので、ご覧ください。

一般質問のようすをエフエムしばたで放送していますが、議場の方へも気軽に傍聴にいらしてくださいと思います。

(文責 宮沢光子)

## 循環バス利用範囲拡大を

### 町長 具体策を関係者で検討



五十嵐 利栄議員

**問** 小学生の登下校について、現在、旧藤奇分校管内の3集落1〜2年生の循環バスでの登下校を認めている。通学距離などで同管内と同程度の遠距離通学の、他校保護者から子どもの安全・安心の観点等から「循環バス利用を認めてもらいたい」という強い要望が学校に出されている。

①要望の出されている、蓮瀧新田・四ツ屋・本三賀集落児童の循環バス利用は可能か。

②バス利用可能な場合、料金2分の1減免は可能か。

③循環バス時刻表の改正

を含めた、問題点とその解決策は。

④循環バスでの登下校が困難な場合、他の交通手段での具体策を検討願いたい。

**町長** ①3集落の循環バス乗車は、増便、バス停の延伸など熟慮が必要。

②循環バス利用時2分の1減免は、藤寄等と同じように基本的に可能。

**教育長** ③循環バスを利用して3集落の子どもが登校することは、一部ダイヤ変更すれば、就学時間までに学校への到着は可能。事業費増等について、関係者と協議が必要。

④循環バス以外の交通手段については、保護者を含めて具体策を検討いただきたい。



▲まだ家まで遠いなあ

## セシウムを含む汚泥の撤去は

### 町長 県・国に要請している

**問** 10月24日、保健所がさぶくん館を立ち入り検査した結果、1浴槽から基準を超えるレジオネラ属菌が検出された。町民や利用者の不安解消のため、2点質問する。

①基準値を超えるレジオネラ属菌が検出された原因を把握できているか。

②再発防止について、保健所の指導を受けて、どのように対応しているか。

**町長** 観音の湯大浴場のみ基準を超えるレジオネラ属菌が検出され、管理や作業も県の基準を守っていたにも関わらず検出された。原因は把握できていない。

再発防止のため、消毒、清掃など万全を期して対応している。

**問** 新潟市笹山地区の東港浄水場に保管されている、放射性セシウムを含んだ汚泥の保管管理は万全か。また、県や国にこの汚泥の早期撤去の要請を行ったか。

**町長** 保管はフレコンパックに詰め、さらに遮光性シートをかけ、適切に保管。

早期撤去は、国および県に4回要請を行った。





小川 勝也議員

# ふるさと納税の成果は

## 町長 本来の趣旨を堅持し推進

**問** 4月より本町も積極的にふるさと納税に取り組んで、一定の成果があったと思うが、現状の成果とこれからの展開はどうなっているか。

また、寄附者からの支援目的別の件数は何件か。

**町長** 11月30日時点で総額454万7千円、前年に比べ飛躍的に伸びている。来年度に向け、返礼品の拡大と工夫をこれまでの経験をもとに検討を加えていきたい。

**総務課長** 支援目的別では、ふるさと防災支援25件、子育て支援135件、教育支援21件、環境支援33件、スポーツ・文化振興支援9件、農業・商工業支援31件、高齢者・障がい者支援47件、ふるさと



▲これで一人前だ（亀塚練馬）

**問** 11月6日、図書館主催の歴史講座「亀塚練馬の民俗」を受講した。30年間続く民俗の重要性を多くの町民とあらためて認識した。

## 町の民俗資料保存が心配だ

**教育長** 貴重な民俗文化財保存を支援

講師の方より、文献だけでなく実際に行事を行った住民からの情報が大切、との話があった。亀塚の住民から、練馬の様子を聞かせてもらい、いっそう貴重な体験ができた。ただ今回は70代・80代の方の証言で、今後の民俗の継承に不安を覚えた。

と地域振興支援25件である。さよ応援が、109件であった。支援を限定しないふる

## 小学校の冬場の通学は安全か

教育長 循環バスの利用を検討

**問** 冬期間、小学生の徒歩での遠方から各小学校までの通学は、さぞかし大変であろうことが想像にあまりある。

遠方からの小学校の児童は悪天候時には、父兄の送り迎えがあるのかもしれないが、非常に大変と思われる。通学バス等の対策をすべきではないか。

**教育長** 冬期間の通学バスは考えていない。しかし、循環バスでのダイヤの一部改正できるか。また、バス停の変更・新設等も含め、協議・検討を進める。

# 進んでいるか案内看板の整備

## 町長 今年度の設置工事は終了

**問** 昨年6月議会で、新図書館への案内看板が少ないことを一般質問した。答弁では、図書館のみでなく、町全体の公共施設を視野に入れた案内看板を計画的に整備する、と言っていたが、進捗状況はどうなっているか。

さまざまな公共サインが町の中にある。個人的な感想として、ばらばら感が否めない。

今後、町の景観と町を

PRする観点から、看板の整備を、統一感をもって、協議し整備することが大事ではないか。

**町長** 一般質問を受けて、今年度に、新図書館への案内看板を新規に1カ所設置し、既存の看板5カ所の付け替え工事を行った。町内全体の公共サインを調査した結果、不要と思われる看板はある。基本的には、看板の統一性を図ることが前提で

ある。今後、統一性が図れるものは対応したい。

## 人材育成をどう考えているか

## 町長 町民に身近で信頼される職員

**問** 町では、人材育成基の方針に基づき、人材育成を行っている。昨今、民間企業で行っている研修等を取り入れる自治体が増えた。当町において、職員研修が既存の研修のみでいいのか。

町民に身近な職員をアピールするため、各課の職員の顔や仕事を「広報せいろう」に掲載することも一案ではないか。

**町長** 職員に対する研修は、各自自治体、それぞれの視点で違う。今の時代は、ITの事務作業の研さんを求める研修が必要である。しかし、基本的には、町民と実務を通して、身近で信頼される職員であることが絶対である。広報の掲載については、検討したい。

## どう考える

## 介助員の人件費

## 町長 国の制度を拡充させ対応する

**問** 町の保育園では、障がいを抱えた子どもを受け入れたことがあったが、その時は町立であった。今、保育園は民間委託である。今後、同じような事例があった場合、町は、人件費を補助するのか。

特別支援教育を受けている子ども、保護者に対し、キャリア教育はどう行われているか。

**町長** 民間の保育園には、町独自の補助金を見直す方向性を出しているが、障がい児等については、補助金の枠で支援を考える。国の予算も相当拡充される予定である。国の制度を拡充させ対応する。

**教育長** 個別の指導計画等で、保護者とともに社会的自立を指導している。



宮沢 光子議員



▲ドライバーに見つけてもらえるか案内看板





中村 恵美子議員

# 中学入学準備金の3月支給を

## 教育長 検討していきたい

**問** ①平成28年5月24日、参議院文教科学委員会で文部科学省の初等中等教育長が、児童・生徒で援助を必要とする時期に速やかに支給できるように、十分配慮するよう通知しているとの答弁している。

中学入学準備金の3月支給については、9月議会で質問した。新潟市ですで行われている内容について、調査することであった。中学入学準備金の3月支給を、行うべきでないか。

②就学援助の用紙を阿賀野市では配布しており、就学援助から、漏れないように対策をしている。児童・生徒の全員に就学援助を希望するか、しなやかを意思表示する用紙

を配布するべきではないか。

③小学校の入学準備金についても、事前の入学説明会で入学時に就学援助を、希望するかどうかを確認する用紙を配布し、受給したい人は、申請の手続きができるようにするべきではないか。

新入学児童・生徒学用品等を3月に支給するためには、就学援助が認定された小学校6年生の世帯に対して、認定となった年度の3月に支給する方法が考えられる。

また、支給後に対象世帯が転出した場合の取り扱いの検討の必要がある。現行の規則では小学校



▲楽しい中学生生活を

入学前の児童に支給することができないなど、不公平が生じる。国・県等の動向を見ながら検討を進めたい。

②就学援助の申請方法は、窓口に来てほしい。町のホームページからも申請書は、取り出せる形に切り替えた。申請の方法は、

今までと同じで、窓口に来て申請してもらいたい。

**子ども教育課長** ③小学校入学準備金の対象は、これも園の5歳児になる。実際に入学していないので、中学入学準備金より時間はかかるが、検討したい。

## 介護保険の議論を

### 町長 議論を深めていきたい

**問** 介護保険は国の制度改定の影響が、高齢者や家族の負担になっている。町も県、他自治体と協力して議論することが求められるのではないか。

**町長** 特養入所基準等についても、被用者負担も含めながら制度改正されると思う。市町村の立場からも、国に異論を述べた。今後もさらに、議論を深めていきたい。

## 自転車通学の安全対策改善を

### 教育長 安全指導を行っている

**問** 中学校が、統合してから15年が過ぎた。通学路も新たに整備されるなど、子どもたちが安全に通学できる環境が整ってきていると思われる。

しかし、いまだに車道を並んで走行する子どもたちを見かける。以前よりもマナーが悪くなったと思っていたのだが、特にクラブ活動が終わった下校時は、開放感からか道路いっぱい広がって走り、ドライバーに迷惑をかけている。

日暮れの早い時期などは、特に危険だと思う。

とが多々ある。子どもたちの中には、ライトを点灯すべき時間帯でもつけずに走行したり、一時停止場所においても確認せずに止まることなく通る。そんな光景を目の当たりにすると、非常に危険に怖さを感じる。

子どもたちが交通事故に遭わないために、また自らを危険にさらさないために、安全な通学ができるようお願いしたい。

そこで、町の将来を担う子どもたちを交通事故から守るために、3点開

①今までの15年間、重大事故がなかったのが不思議なくらいの箇所がいくつかある。道路を改良する

等の手だてはないか。

②自転車通学時にヘルメットを町で支給、義務化できないか。

③中学校で自転車の整備点検を定期的に実施しているか。

**町長** ①自動車通行量が多い都市部と比較すると、本町では自転車のみを視

野に入れた整備の必要性は現時点ではあまり感じていない。

**教育長** ②ヘルメット着用については、特に決まりを設けず保護者の自主的な判断に任せている。保護者の意向などに応じて、一定限度の補助が可能か検討していく。

③中学校での自転車点検整備は行っていない。毎年度4月から5月にかけて、交通安全教室において実施している。



長谷川 六男議員



▲ヘルメットがあればもっと安全だ

## どう考える防犯灯点灯時間

### 町長 点灯時間を調整している

**問** 本町の通学道路は防犯灯が夜遅くまで点灯している。必要のない時間帯にまでついていることのないよう、現状の見直しや電力会社との契約内容の見直し等を行い、経費削減につながるよう検討したい。

**町長** 定額契約で、時間や日数を減らしても使用料は変わらず、経費削減につながる。

交通量がない時間帯は、調整が可能か検討する。





宮沢 さやか議員

# 学校・こども園トイレの洋式化を

## 教育長 計画的に検討を進めていく

**問** 近年トイレの洋式化が進み、自宅トイレが洋式という家庭は多い。これは公共施設や商業施設も同様である。

そのため、和式トイレを利用したことがなく、苦手と思う子どもたちは増加傾向にある。そして最近、小学生から便秘傾向である子が増加しているのは、こうした生活様式の変容も理由の一つと考えられる。

また、学校施設は災害時の避難場所であり、高齢者や障がい者も利用する。その点からも早急な対策が望まれる。

今年度、文部科学省は、全国公立小・中学校での洋式トイレの設置率が、43・3%にとどまるとの

調査結果を公表した。新潟県は46・6%と全国平均をやや上回った。しかし、本町ではこども園・小学校合わせ30・8%、3小学校ではさらに低い21・2%と洋式化率は全国・県平均を大きく下回る結果であった。

こども園ではトイレの洋式化が既に実施されているが、来客者や職員用トイレは男女共用になっている。今後、整備が始まるものと理解しているが、



▲男女共用の職員トイレ



▲使いやすいトイレを

ており、運動会等イベント時、利用に困るという声も多く聞く。また、職員も以前より男性が増えており、園でもトイレの改修が必要であると思う。第4次聖籠町総合計画では、小・中学校の洋式トイレの設備などを充実するため、環境整備計画策定の必要性をうたっている。今後、整備が始まるものと理解しているが、

町の場合はどうか。  
①具体的な取り組み時期は決まっているか。  
②改修の具体的な案はどのようなものか。  
③こども園職員トイレの改修も考えているか。  
**教育長** ①具体的な時期については、かなりの財政負担が生じることから、各担当課と協議し、できるだけ早い時期に実施できるように、検討を進めていきたい。  
②具体的な計画案は決まっていらないが、和式トイレをいくつか残すことを考えている。従来からのタイル張りではなくフロア

の乾式化や、子ども目線でトイレについて考えていくことも、計画段階で検討したい。  
③現状把握し、限られたスペースの中で、利便性と快適な利用ができる空間を整備していく。また、子どもが使用するトイレについても小学校同様、洋式化が可能かどうか検討していきたい。

# 区長の委託料は個人の所得か

## 町長 区長手当として受ける場合は個人所得

**問** 町は各集落行政区長と行政連絡事務等業務の委託について、業務委託契約を締結している。その内容は次の通りとなっている。

●町長は次の業務を区長に委託する。

- (1)業務の名称 行政連絡事務等業務委託
- (2)業務の内容

- ▼行政連絡事務
  - ▼調査事務
  - ▼一般行政協力事務
- 期間 1月1日～12月31日まで
- 委託料の支払額 (1)均等割 7万8千円

- (2)世帯割 1世帯2100円X世帯数
- (3)組長手当 1世帯千円 X世帯数
- 支払期日 委託料は年2回に分け、区長の指定口座に支払う。

以上が町長と区長との業務委託となっている。

- ①現行の契約内容は一般町民に知らされていない。毎年、広報等で知らせ町民の理解を得たらよいと思うがどうか。
- ②特別職(町長・議員等)の報酬は引き上げられているが、区長手当(委託料)の引き上げ実施はで

きないのか。  
③区長手当(委託料)は区長の個人収入と思うが、収入申告(雑所得)は指導しているか。  
④区長を経由せず直接、連絡事務等やっている世帯はあるか。

**町長** ①毎年、区長が代わるたびに、広報で氏名をお知らせしているが、今後、業務内容や会議の出席、文書の配布、募金の取りまとめ、除雪の要望・苦情、ごみステーションの管理等、広報し理解を得たい。

②今まで委託料については据え置いてきた経緯があるが、近隣市町村の状況も調査し、今後検討する必要がある。  
③委託料は税務署と協議の中で所得税法上、雑所得に該当する。

手当とした場合は個人所得となる。集落によってばらつきがあり、今後どうするか検討している。  
④文書を直接郵送している世帯は4世帯とアルビレックス新潟の寮である。

# どうする劣化した通行標識

## 町長 標識は優先順位

**問** 山倉地内の一部道路が一方通行に指定され、不便を来している。最近、進入禁止区域に車が突入している。禁止標識も劣化し見えにくい。事故は時を待たない。  
**町長** 警察も確認している。見にくい標識が多く優先順位で決めている。早急な取り付け難い。



小川 益一郎議員

集落によって直接区長



▲危ない侵入するな





高松 守雄議員

# 給付型奨学金どう考える

## 町長 現時点では時期尚早

**問** 教育の拡充として、国でも大学進学者らを対象とした返済不要の「給付型奨学金」の創設に向けた議論が活発化している。

財源や条件など不明確のところはあるが、具体的な制度設計を進め、2017年度予算案に盛り込み、春からの導入を検討している。

また、新しい県知事も選挙戦での公約として原発政策に加えて、新潟版「給付型奨学金」創設により、教育などを通じた人への投資も強調していた。

現在、町の制度の下では65人の育英生が無利子で貸与型育英資金を受けているが、少数ではあるが滞納や未納が見られ問題となっている。

町内でも、大学進学を希望する「やる気があるが勉強したいにも関わらず、経済的な問題が障害となって進学を諦めている」子どもたちがいるという現実がある。

①従来の育英資金制度の他に国や県の制度を補う形にした町の定住化構想の観点を取り込んだ町独自の「給付型奨学金」の

希望する「やる気があるが勉強したいにも関わらず、経済的な問題が障害となって進学を諦めている」子どもたちがいるという現実がある。

②現在、大学生の半数は奨学金を受けている。財源は、ふるさと納税の寄付に際し、希望する使途を指定することができる欄に、給付型奨学金を設けて、聖籠町のブランド化を図ってはどうか。

町長 経済的な理由により進学を断念せざるを得ない人たちを後押しするためには有効だと思う。

町長 経済的な理由により進学を断念せざるを得ない人たちを後押しするためには有効だと思う。



▲希望する進路へ

地方自治体が創設するには恒久的な財源をどう確保するか、また一般財源を投入するには公平性を確保する観点から対象者をどのように選定するかなど、慎重に検討する

必要がある。今後、国や県の動向を注視しながら当町の財政状況を含め検討して行きたい。

## 臨海鉄道の復活を

### 町長 新潟市長と共に要望

**問** 県の交通政策局長の話で東港の機能強化に加えてJR貨物等、関係機関の実務者レベルで検討を進めていると聞く。本事業の実現に向けて聞いているか。

新しい知事には東港の経過と現状を話したのか。

**町長** 日本海側拠点港の計画書にも提案されており、実現に向けている。新しい知事には現状を話し、新潟県のトップセールスとして流通の拠点化を図ってもらうべく働き掛けをしていく。

新しい知事には東港の経過と現状を話したのか。

# ふるさと納税現状は

## 町長 農家の所得向上・販路拡大につなげる

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略概要版の中で、地域資源を生かした魅力ある産業を形成するとある。その中で、ふるさと納税制度を活用した農産物の販路拡大につなげる。①ふるさと納税額の推移はどうか。②ふるさと納税に対し、町は、地元農家との話し合いの場は設けているのか。③この制度は農家の所得

向上につながっているのか。

農産物のブランド化および産地化の促進とあるが、サクランボやブドウはブランド化しているのではない。町はどこまでをブランド化と捉えているか。また、サトイモがメディアで報道され、もっとブランディングしていくには農家の協力、それらの仕掛人が必要と考える。

農産物の生産、加工品および販売の一体的な取り組みとあるが、地場物産や加工センター、それ

らの活性化と捉えていいか。町の観光産業の拠点となるよう、抜本的な取り組みは考えていないか。また、地産地消率の推移はどうか。

**町長** ①11月30日現在で435件、総額454万7千円の寄附があり、件数、金額的に飛躍的に伸びている。

②収穫前に調整会議を行い、返礼品発送後には次年度に向けた会議を開催した。農家の皆さんと向き合いながら、対応しなければならぬ。町に協力することによって、自分たちの販路拡大につながる意識が働けば、おのずと輪が広がると考える。

③農家から少しは効果があったと聞いている。サクランボ、ブドウについては、県外での知名

度向上に向け、関係機関、団体等と連携し、ブランド化に向け、取り組んでいく。

地場物産館に隣接する酒蔵が閉店したこと、商業、農業、観光業が一体となった利用ができないか、検討中である。平成27年度の地産地消率は

43%と多少減少している。向上に向け取り組んでいく。



青木 順議員

度向上に向け、関係機関、団体等と連携し、ブランド化に向け、取り組んでいく。



▲利用しよう加工センター

## 防犯灯足りているか

### 町長 各集落との約束事の中で対応する

**問** 今一度、各集落に防犯灯が不足していないか確認できないか。

**町長** 集落内の防犯灯については集落管理である。新たに設置するものは、集落との約束事の中で対応していく。





田中 智之議員

# どう取り組む高齢者の自動車事故

## 町長 高齢者への呼びかけと循環バス見直し

**問** 高齢者による自動車事故が多発している。国全体の交通事故が年々減り続けている一方、75歳以上による死亡事故は、年間400件台で高止まりを続けている。

平成10年に高齢者に対する運転免許自主返納制度が始まり、返納した人のために支援事業を実施している自治体も多い。

しかし現実には、地方へ行けば行くほど高齢者の移動手段は限られる。以上を踏まえ2点質問する。

①本町では高齢者の運転免許自主返納を、どのように進めているか。

②自主返納した高齢者の生活を支えるため、どんな施策を用意できるか。

**町長** ①高齢者安全指導



▲いくつになっても安全運転

教室等で呼びかけている。75歳以上の方は、申請すれば循環バスが無料で利用できる。

②新潟交通から、来年9月をめどに亀代路線廃止の意向が示された。それを含め、今の循環バスの運行そのものについて検討し直す時期だ。新発田市のコミュニティバス、胎内市のデマンド交通等

を本町の実態に即した場合の効果等も含め、今後の検討課題だ。

**問** 連日、学校でのいじめのニュースが報道されている。特に今年が悪質ないじめの事例が多い。

2013年の「いじめ防止対策推進法」施行後も、年々いじめの件数は増えている。本町では、毎年3小学校と中学校に「いじめ防止基本方針」が制定されるが、校内でいじめが発生していると、学校だよりや保護者・児童・生徒から聞こえてくる。そこで3点質問する。

①本町の学校におけるいじめの件数と内容は。また、その中で重大事態は。

②いじめが原因の不登校の人数は。対象児童・生徒へ、どう対応している。

③多額の費用をかけて毎年行っているQUTテストの具体的な効果は。

**一口メモ**

※重大事態とは  
①児童・生徒の心身や財産に重大な被害が生じた疑いがある事態。  
②相当の期間、欠席を余儀なくされている疑いがある事態。  
いじめ防止法は教育委員会や学校に速やかな調査を義務づけている。

**教育長** ①平成26年度5件、27年度14件、今年度は13件だ。重大事態は27年度1件で今年度はゼロ。

②今年度はいない。昨年度は1人いたが、現在は少ずつ登校している。

③学校生活に適應しているか、不登校の兆しはないか、いじめの可能性はないか。以上3点に有効。他のアンケートと併用し、望ましい学級づくりや学習・進路指導に生かすなど、有効に活用している。

# いじめの実態は

## 教育長 今年度は13件発生

# 幼児教育に生きる力を

## 教育長 生きる力は最重要課題

**問** 科学的根拠に基づいた教育論からすると、特に非認知能力を高めるには、就学前教育に力を注ぐことが、最も効果的であるという説がある。

ペリー就学前計画という教育実験や他の研究結果から、小学校入学前の教育が、その人の学歴、収入、雇用に大きく影響するといわれている。

非認知能力とは、IQや学力で測られる認知能力とは別の忍耐力や社会

性、意欲的であるといった、いわゆる「生きる力」といわれるものだ。就学前教育に支出することは、貧困対策、少子化対策、経済成長対策という三つの政策効果を同時に持つ、収益性の高いものと考えられる。

教育予算編成に当たり、就学前教育についての基本的な考えは何か。

**教育長** 各ごも園では、この就学前教育、こども園での教育の充実ということから、毎年度、県内

外の幼児教育、あるいは就学前教育に関する研修会等に参加して、講演を開いたり、事例発表を聞いたり、こちらが実践発表したりして、多くの情報を収集してきている。

その情報を職員が共有して幼児教育に役立てている。

教師の指導力、管理職のマネジメントなどを高めるための予算や、研修

の旅費と負担金を予算計上する。

町は12年カリキュラムでどういうことを重点的に指導し、積み上げていくか、をさらに進めていく。こども園の悩みは、一生懸命やっていることをなかなか保護者に理解してもらおう機会が少ないことだ。

最重要課題の一つである社会性の育成は、まさに生きる力を問われているので、学習指導要領の改訂を先取りする形で進めたい。

# 診療所の体制は現状維持か

## 町長 来年度も継続した形で取り組む

**問** 平成30年度に国保は県に移管する。

診療所は現在の体制でそのまま継続していくのか。どこか手を加えるのか。

**町長** 予算編成と運営を混同して考えているようだ。人的な対応や未使用機器の活用など、さまざまな考え方により予算編成作業はある。

来年度は、方針つけて、今までと継続した形で取り組んでいく。



▲みんなできると楽しいね



渡辺 豊議員



## 選挙の現状と課題

### 総務文教

11月15日、本町における選挙の現状と課題について、聖籠町選挙管理委員会と意見交換をした。

最大の課題は県内最低レベルの投票率の低さである。そのため選管では投票率向上に向け、防災無線や公用車による投票の呼びかけや、町各種イベントでの選挙啓発などの取り組みを行っている。また、7月の参院選では、ジャパンサッカーカレッジ校舎内に期日前投票場を設置し、学生に投票を

促した。その結果、本町に投票権のある学生の約8割が投票した。このような平日頃の地道な努力が投票率向上につながる。

今後は、選管と行政・教育委員会とが連携し、町民に「自分の町に責任をもつ」という意識を高める施策の実行が必要だ。その際、未成年に対する主権者教育が重要なのは言うまでもない。

(文責 田中智之)



## 話し合った

# レポート

## 陳情 1 件は不採決

### 厚生産業



12月9日、一般会計を含む9議案を調査した。主な内容としては、農産物加工センターの包装室が、利用者の公平性を保つために無料から有料となる。8時30分～12時30分千円、13時30分～17時30分千円となる。

海のにぎわい館の次期の指定管理者が、前期と同じNPO法人海レクサポートせいろうとなる。

利用者の声に耳を傾け運営に努めてほしいと意見があった。

続いて陳情1件を審査した。内容は道賀新田地区の防災道路整備だった。現地調査を行い審査した結果、他地区との公平性や以前の整合性を踏まえると、町の基本的な方針との整合を図り、個別の内容を審議する必要があると考え、12月定例会においては全員一致で不採択とした。

(文責 青木 順)

## 進化を続ける先進地の広報

### 広報広聴

10月6日、鳥取県大山町へ視察研修を行った。大山町は平成17年に3町が合併し誕生した町である。合併後、「議会だよりだいせん」を発行。最新号は45号である。

全国コンクルの成績は、平成25年から優秀賞の上位を立て続けに受賞している。

大山町の編集理念は、

①読んでみたくなる紙面にする(インパクトのある表紙等)。

②中学生や高齢者を念頭に行政用語を使わず、簡潔な文章にする。

③会議録や活動報告ではなく情報誌にする等である。

# 見て聞いて 委員会



9月から11月、当委員会では、4自治体の広報委員会の視察対応をした。視察対応することであらためて、当議会だよりを見直す機会になっている。

9月から11月、当委員会では、4自治体の広報委員会の視察対応をした。視察対応することであらためて、当議会だよりを見直す機会になっている。

(文責 宮沢光子)

## アンケート調査を実施

### 議会運営

11月16日、地域の特色を生かした議会基本条例の制定および実践の先進地である、会津美里町に視察研修を行った。

会津美里町は、平成17年の3町村合併時、議員間で考え方の相違が著しくあり、議論を進めていく中で開かれた議会を目指すし、基本条例制定による意識改革などが構築された。

行政に対する監視と評価機能の充実、多様な町民参加の推進に努めてい

た。また、町政の課題を的確に把握し、政策立案および提言を行うことができる政策形成機能の向上を図るなど、議会のありべき姿が明確であると感じられた。

本町の議会改革においては、前回も記したが、広報広聴常任委員会の協力のもと、1月中旬に改革に関するアンケートを実施する。率直な多くの回答を期待したい。

(文責 田村富美男)



# お知らせ

～ information ～

## ☆ 議会を傍聴に きませんか

今回の定例会は、

**3月7日(火)**開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。あなたに身近なこともかもしれません。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができますので、都合で議場に來られない方もぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望など、お気軽にお寄せください。



## ★表紙の写真★

「キャンドルサービス楽しいな」  
(亀代こども園)

12月16日(金)、各こども園で行われたクリスマス会。5歳児がキャンドルを大切に持つ姿が印象に残りました。

(撮影 宮沢 さやか)

### 発行 責任者

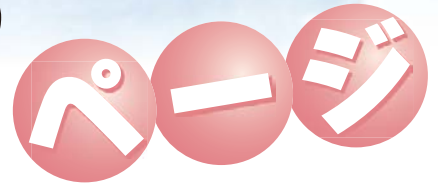
議長 須貝 龍夫

### 広報広聴常任委員会

委員長 宮沢 光子  
副委員長 小川 勝也  
委員 中村恵美子  
渡辺 豊  
長谷川六男  
宮沢さやか

# みんな

# の



## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

### 美味しいものが たくさん



いいぬま めぐみ  
飯沼 恵美 さん  
(次第浜)

**Q** どんなきっかけで彼と知り合いましたか？  
仕事関係です。

**Q** 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

美味しいものがたくさん!!!  
あと、海も近いし免許センターも近くてうれしい。

今回は、阿賀野市出身で平成28年4月に嫁いで来た飯沼恵美(旧姓 椎野)さんです。  
皆さんよろしく願います。

**Q** 町での生活はどうですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあつたらお聞かせください)

まだ、どこに何があるか分からないところもたくさんあるので、これからいろいろ広げていきたいです。

**Q** 町に望むことはありますか？

安全、安心第一でお願いします。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局(Tel.0254-27-1967)までご連絡ください。

改選後2度目の12月議会を迎えました。今回の一般質問では11人が登壇し、活発な議論が行われました。2015年8月23日。町議会議員選挙は、新聞等の報道でもあつた通り、1955年の聖籠村誕生以来、初めての無投票選挙となりました。議会への関心が薄れてきていることが考えられ、私たち議員一人一人が危機感を抱いているところです。議員の職務は、町民の声を聴き、町政へ届けることであると思っています。これからも町民の皆さんとの距離が少しでも近くなるよう、努力していきたいと思えます。1月下旬、町議会では「議会アンケート」を実施します。町民の皆さんの素朴な疑問や率直な意見等、町議会に皆さんの「声」を届けてくださるよう、ご協力をお願いいたします。

広報広聴常任委員会  
委員 宮沢 さやか

# 編集後記